避難所運営ゲーム（HUG）

避難者カードを避難所の体育関等に見立てた平面図に配置する。それぞれの抱える状況に配慮しながら、生活空間を確保し、適切に避難所内へ配置する運営者の立場を体験する。

活動のねらい

・避難所運営を模擬体験することで、災害や避難者の状況を主体的に考える。
・防災について考える機会とする。

活動可能人数	100 人程度	**活動・季節条件**	通年
所要時間	２時間程度	**主な対象**	中学生～
実施場所	研修室	**グループの人数**	６人程度
活動形態	指導依頼活動（指導員の説明、指導が入る）		

活動内容

⑴ 会場の準備
・机、椅子　・色ペン　・避難所見取り図 各種　・付箋　・A４コピー用紙　・セロテープ
・掲示板（ホワイトボードなど）

⑵ 避難所について、ゲームの進め方についての説明（３０分程度）
⑶ ゲーム（休憩をはさんで４０～５０分程度）
・１グループに読み上げ係（生徒または引率者）１人が必要。
・引率者は、２～３グループを巡回し、支援を行うとよい。
⑷ 避難者への対応について交流する。（２０分程度）
⑸ 体験の感想を交流する。後片付けをする。（２０分程度）

準備物

野外活動センターで準備するもの

避難所運営ゲームのカード　　色ペン　　セロテープ（グループ数）

利用者または団体で準備するもの

・想定避難場所の見取り図（A1 サイズ）グループ数
※自分たちの学校の体育館（避難場所）の見取り図をＡ１サイズ（A3 を４枚貼り合わせたサイズ）でグループ数分作成してください。野外活動センターホームページで、作成用エクセルデータがダウンロードできます。ご利用ください。
・校舎内見取り図（Ａ３サイズ）グループ数　※教室等の配置がわかるもの
・敷地内見取り図（Ａ３サイズ）グループ数　※校庭や校舎、体育館の位置関係がわかるもの
・コピー用紙（Ａ４サイズ白紙２０枚）グループ数　※裏紙等でも利用可
・付箋（7.5cm×7.5cm　１束×グループ数）

指導上の留意点

・研修室Ａ、研修室Ｂそれぞれ９グループまで実施可能です。
・１グループに１人読み上げ係（生徒または引率者）を事前に決めてください。

備考

・準備物などについては、ご相談ください。